UJF-7151plus 毎日のお手入れ

お手入れの際は必ず付属のゴーグルと手袋を装着してください。

プリンターをより良い状態でご使用いただくために、**１日の作業終了後、またはノズル抜けやボタ落ちなどが発生した際は**以下のお手入れを必ず行ってください。詳しくは「日常のお手入れのお願い」をご覧ください。

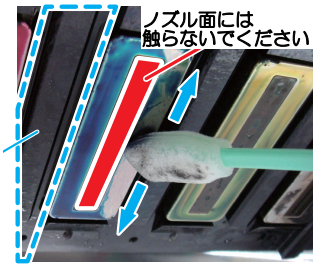
メンテナンスに必要な道具	必須	• メンテナンス液 11	品番：ML011-Z-B2
	必須	• メンテナンス液 15	品番：ML015-Z-B1
	必須	• ヘッド周辺用クリーンスティック	品番 : SPC-0527
	必須	• キャップ / ワイパ清掃用 UJ 清掃棒	品番 : SPC-0386
	必須	• アルコール	
	必須	• 手袋	
	必須	• 保護めがね	

ヘッド周辺の清掃

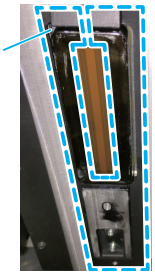
1. ノズル面の周囲を清掃する

ヘッド周辺用クリーンスティックにメンテナンス用洗浄液を含ませ、ノズル面の周囲のインクを拭き取ります。
ヘッド周辺の黒い部分およびヘッド周囲の隙間に付着したインクも拭き取ります。

【清掃中】



【清掃後】



注意

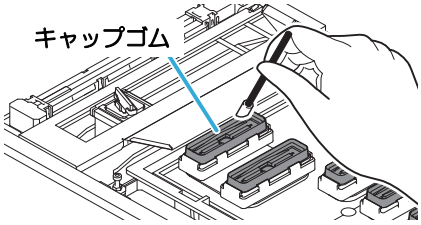
- 清掃中、ノズル面 (写真の赤い部分) には**絶対に触らない**ようにご注意ください。
- メンテナンス途中で席を離れる場合、**[ENTER]** キーを押して清掃を終了してください。
  そのまま放置すると外光の影響でインクが硬化し、ノズル詰まり等の弊害を及ぼす恐れがあります。

ステーションの清掃

1. キャップを清掃する

(1) キャップ / ワイパ清掃用 UJ 清掃棒にメンテナンス用洗浄液を含ませ、キャップゴムの縁に付着したインクを拭き取ります。写真のような状態になるまで、清掃してください。
(2) キャップゴムの縁の部分にゴミが付着していないことを確認します。

重要！
- ゴミが付着していた場合、画質不良 (ノズル抜け) やインクボタ落ちの原因になります。

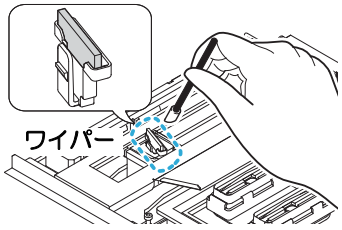


【清掃前】

【清掃後】

2. ワイパーを清掃する

(1) キャップ/ワイパ清掃用UJ清掃棒にメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーと周辺に付着したインクを拭き取ります。
(2) メンテナンス液 11 を 3 ～ 5cc 流し、廃路を洗浄してください。



【清掃前】

【清掃後】

3. ワイパー周辺を清掃する

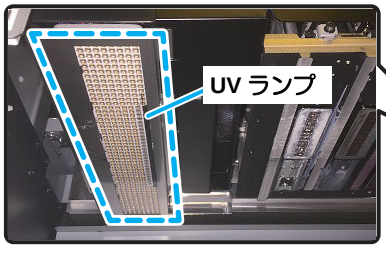
ヘッド周辺用クリーンスティックを使い、ワイパー周辺のインクを拭き取ってください。

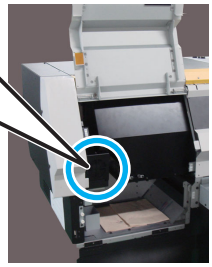
UV ユニットの清掃

1. UV ランプ下面を清掃する

(1) UV　ランプ下面にインクが付着している場合、アルコールを含ませたヘッド周辺用クリーンスティックまたは柔らかい布で拭き取ります。
(2) アルコールを含ませたヘッド周辺用クリーンスティックまたは柔らかい布で、ヘッドベース側面のホコリ汚れを拭き取ってください。
(3) アルコールやホコリ等が残らないように拭き取ってください。

重要！
- アルコールが残っていた場合、インクボタ落ちや硬化不良の原因となります。





ヘッドノズル面メンテナンス手順書

お手入れの際は必ず付属のゴーグルと手袋を装着してください。

ノーマルクリーニングやハードクリーニングを行っても画質不良 (ノズル抜け) が解消しない場合のみ、下記の手順に従ってヘッドノズル面のメンテナンスを行ってください。

注 意

- メンテナンスを行う前に、必ず弊社エンジニアによるトレーニングを受講してください。受講をせずにメンテナンスを行うと、ヘッドの故障の原因になる場合があります。
- メンテナンスの際、絶対にインクヘッドのノズル部分をこすらないでください。ノズル部分をこすると撥水面が劣化し、ヘッドを交換しなければならない場合があります。

ヘッドノズル面のメンテナンス

1. 新しいヘッド周辺用クリーンスティック(品番:SPC-0527)にメンテナンス液15を十分含ませる

重 要 !

- 使用済みのクリーンスティックは再利用しないでください。
  ノズル詰まりの原因になります。

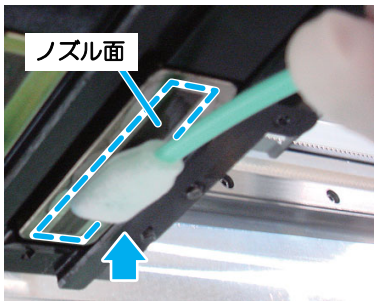
2. ノズル面を清掃する

(1) メンテナンス液 15 を含ませたクリーンスティックを、10 秒ほどノズル面に軽く押し当てて清掃する。
(2) ノズル面全体に (1) の作業を行う。

注 意

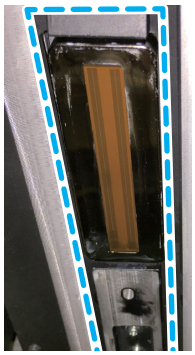
- ノズル面をこすったり、スポンジ部を指で強く押さえつけたりしないでください。ノズル面が傷つき、吐出不良の原因になります。
- 一度使用したクリーンスティックは再利用せず、常に新しいクリーンスティックを使用してください。

【ノズル面の清掃】



10 秒ほど軽く押し当てる

【メンテナンス液 11 塗布範囲】



メンテナンス液 15 で清掃後にメンテナンス液 11 を使用することで、より効果的にインク硬化物などの異物付着を防止できます。
ノズル面を含めた周囲全体を念入りにクリーンスティックで10秒ほど、軽く押し当てながら塗布してください。

3. すみやかにクリーニング " ノーマル " を実施する

① ローカルで、[FUNC2](TEST PRINT/CLEANING) を押す

② ヘッドを選び、クリーニングする / しないを設定し、[ENTER] キーを押す

(1) [◀][▶] でヘッドを選ぶ
(2) [▲][▼] でクリーニングする / しないを選ぶ
- すべてのヘッドに対して、クリーニングを実行するかを選択してください。
  クリーニングする ：セットされているヘッド番号を表示
  クリーニングしない：" ー " を表示

③ [▲][▼] を押してノーマルを選び、[ENTER] キーを押す

④ [ENTER] キーを押す
- クリーニングを開始します。
- クリーニングが終了すると、ローカルモードになります。

⑤ テストプリントを行い、プリント結果を確認する
- プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

© 2016 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.
M018046-02(D202968-13)-13072023 KM